

具体的施策の検討例

国土交通省九州地方整備局

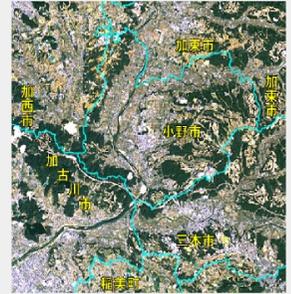
川内川河川事務所

洪水ハザードマップの作成支援

- ①H19年度内に関係市町洪水ハザードマップ整備を完了
- ②未整備地域に対し、浸水想定区域図を周知
- ③実績浸水域と洪水ハザードマップを比較し、洪水ハザードマップの有効性確認
- ④河川改修状況に応じた洪水ハザードマップの定期的更新
- ⑤自分が住む地区・自宅を中心に表示した洪水ハザードマップの作成

地図から検索
クリックすると拡大ズームします。

情報を入力して検索
郵便番号が住所または目標物で検索することができます。



兵庫県全域を表示する

郵便番号

住所

目標物から検索

市町名よみがな

市町名

大分類

小分類

(出典:兵庫県CGハザードマップ)

- ⑥小学生作成の洪水ハザードマップコンクールの開催
- ⑦洪水ハザードマップのための学習会の開催、小学校での授業の実施

避難計画・施設の再検討

- ①浸水する避難所・避難場所の見直し、あるいは、耐水化
- ②避難所・避難経路へ誘導する案内表示板等の設置



- ③車による移動を考慮した避難計画の検討

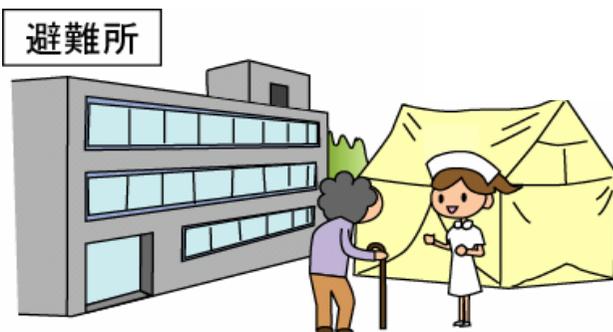


災害時要援護者の避難計画の立案

- ①災害時要援護者等の避難支援計画の立案
- ②災害時要援護者の所在地等事前登録と避難支援者の指定

自治 区名	民生 委員	TEL FAX
災害時要援護者 <高齢要介護者・一人暮らし高齢者・障害者・その他()>		
住所	TEL FAX	インターネット(電子メール、携帯メール等)も含めた情報伝達手段
氏名	(男・女) 生年 月日	
緊急時の家族等の連絡先		
氏名	続柄()	住所
氏名	続柄()	住所
家族構成・同居状況等		
妻と二人の老夫婦世帯。長男・次女はいずれも結婚して県外に居住・・・	居住建物の構造 木造二階建て、昭和〇年着工	木造、鉄骨造、耐火造、着工時期等
特記事項 要介護度4で一人では歩行が困難。人工透析を受けている。聴覚障害もあり、手話通訳が必要		
緊急通報システム (あり・なし)		
避難支援者		
氏名	続柄()	住所
氏名	続柄()	住所

- ③避難所における生活水準の向上



水害時住民行動マニュアルの作成

- ①地域住民自らの手による水害時住民行動マニュアルの作成



地域孤立化防止対策の検討

- ①水害により孤立化が想定される地域の整理・明確化
- ②孤立化地域の水防資機材の備蓄、孤立化を防ぐための避難経路の連続性確保、伝達手段確保



具体的施策 ③

基本方針 水害の危険性に関する認識向上

水害危険性の認識向上・防災用語等の習得

①出前講座制度等の活用、
教材等の開発・提供

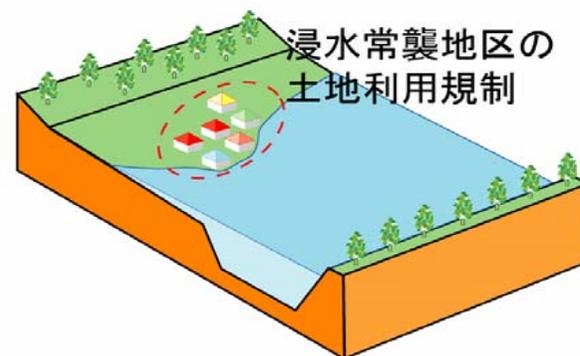


②職場、自治会、公民会等
で地域防災講座の開催・
地域防災訓練の実施等



浸水地区の土地利用規制等の検討

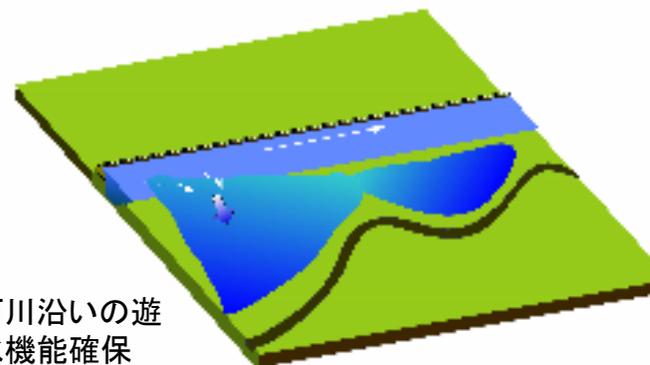
①治水対策方針を反映した土地利用への誘導



河川沿川における従前の遊水機能の確保 に関する対策の検討

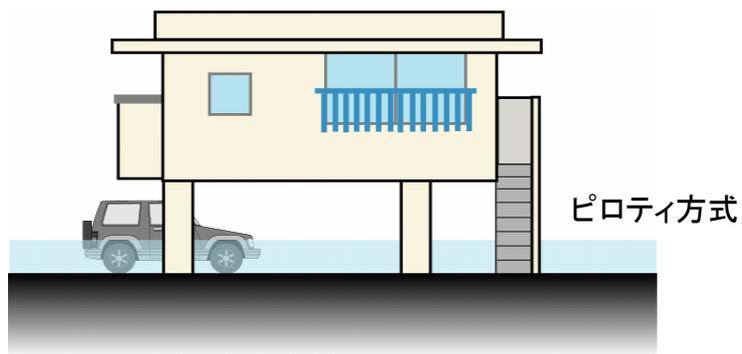
①遊水機能の確保が望ましい区域の確保

②土地の利用目的・浸水危険性の明示



浸水に強い建築構造導入の検討

①浸水に強い建築構造導入の検討



河川沿いの遊
水機能確保

具体的施策 ④

基本方針

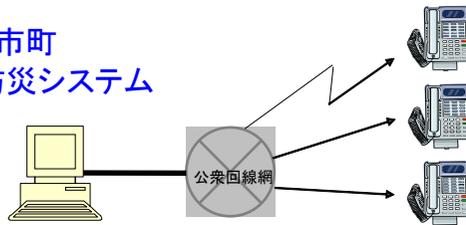
洪水時の情報提供・伝達機能の向上

わかりやすく精度の高い情報提供

①河川水位と危険度レベル
雨量、ダム諸量表示

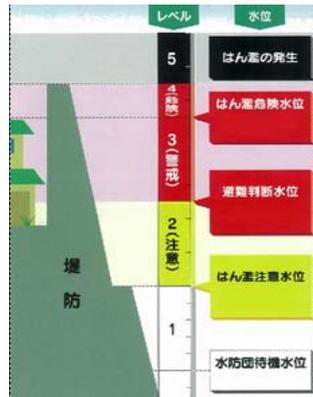
②危険度レベル等の
情報の自動配信

各市町
防災システム



③既往最大洪水痕跡水位
や水位の危険度レベルの
標識設置

④わかりやすい情報提供
のためのマスコミとの
連絡協議会の継続



豊岡市日高町
(円山川)

地域コミュニティの活用

①地域コミュニティ単位の避難行動の支援
(地域コミュニティ単位での水防訓練や防災教育、そして、地域活動)



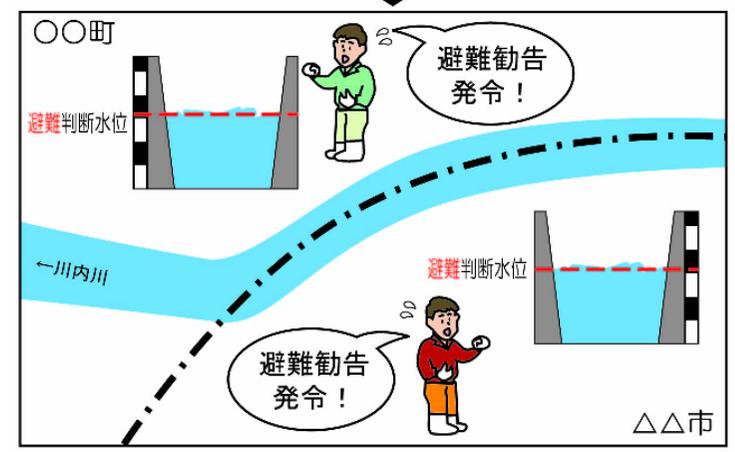
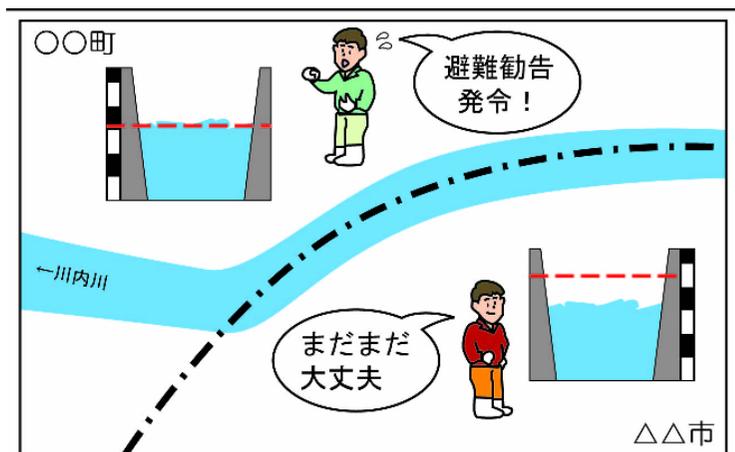
水防情報の一元化

①重要な水防情報のみやすい一元化
②簡単にアクセスできるシステム



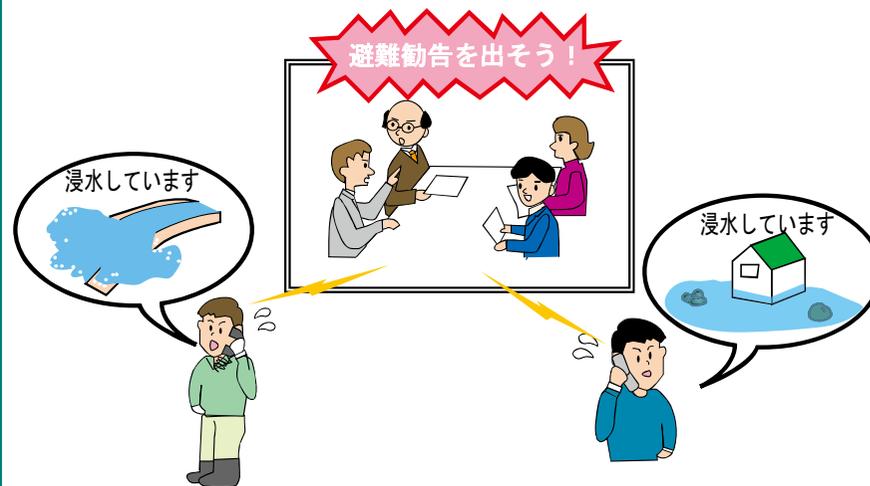
避難勧告・指示の発令基準の再検討

①流域としての避難勧告・指示発令基準の一貫性確保



収集情報の発令判断への活用

①浸水モニター制度の導入



②緊急時の河川管理者等から市町長へ助言する仕組みの強化



水防資機材の備蓄・効率的活用

- ①水防資機材の十分な備蓄
- ②水防資機材の広域的利用体制の確立



防災ステーション

重要水防箇所の情報提供

- ①重要水防箇所の情報提供
- ②重要水防箇所に適した水防工法の指導・学習

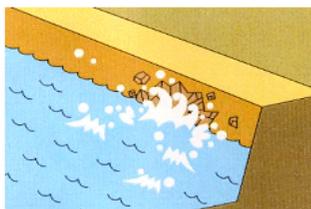


積み土のう工



主な使用資材：土のう、綱杭、土砂
主な使用工具：スコップ、大ハンマー、一輪車

堤防高不足の場合の水防工法例



立籠工



主な使用資材：玉石、蛇籠、留め杭
主な使用工具：掛矢、しの、ペンチ

侵食の場合の水防工法例

ボランティアの受け入れ体制、業界団体との協力体制の確立

- ①ボランティアの受け入れ体制の確立、受け入れ準備マニュアルの作成
- ②業界団体との災害協定書等の締結



ボランティア受付窓口

消防団等との連携による各家庭での浸水軽減活動

- ①消防団を中心とした各家庭での浸水被害軽減活動のための学習・連携



川内川水系水害に強い地域づくり委員会

第1回 4/27 開催
 第2回 6/22 開催
 第3回 8/7 開催

- ①事務所からの話題提供
- ②意識調査結果等の報告
- ③課題の抽出 等

- ①基本理念の検討
- ②基本方針の検討 等

- 提言内容の検討
- 提言の承認

提言 自助・共助・公助

国・県・自治体・住民・その他関係機関

報告
.....
確認

川内川水害に強い地域づくり推進協議会
(国・県・自治体・住民代表)

勉強会
(アドバイス)

アドバイザー
例：自主防災組織関係者等

具体的なソフト対策の検討
(国・県・自治体・住民代表)

アクションプログラムの作成

ただし、緊急的に着手できるものは着手

鶴田ダムの洪水調節に関する検討会

各機関でのソフト対策の検討

国

県

各自治体
(NPO、住民等)

マスコミ

反映

報告
.....
確認

ソフト対策の着手

委員においては、提言後のアクションプログラムの確認を実施

川内川水系水害に強い地域づくり委員会

委員会は、提言を行うことを目的とし具体的なソフト対策は推進協議会を軸として検討を行う。

川内川水害に強い地域づくり推進協議会

提言を基に具体的なアクションプログラムを策定し、実行に移すための機関。